

日本の台風

マーキー

リズ

秋学期2016年

台風とは何だろうか？



台風の影響

強風、大雨



洪水



台風に備えること

- 最新の台風情報の確認をする
- 窓や雨戸を補強する
- 外出は控える
- 避難の前には火の元の確認をする



気象状況

大雨の数日～
約1日前
大雨の可能性が
高くなる



大雨の
半日～数時間前
雨が降り始める



雨が強さを増す



大雨の数時間
～2時間程度前



大雨となる



大雨が一層
激しくなる



広い範囲で
数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

**大雨
注意報**

**大雨警報
(土砂災害)**

**大雨
特別警報
(土砂災害)**

大雨に
関する
気象情報

記録的短時間大雨情報
土砂災害警戒情報

市町村の対応

- ・ 職員の連絡体制を確認
- ・ 今後の気象状況に注意

- ・ 災害準備体制
(連絡要員を配置、防災気象情報を把握)
- ・ 災害注意体制
(避難準備情報の発令を判断できる体制)
- ・ 必要地域に避難準備情報
(発表中の注意報に、夜間に警報発表の可能性が高いと記載されている場合)

- ・ 必要地域に避難準備情報
(台風の最風域に入る前に)
- ・ 災害警戒体制
(避難勧告の発令を判断できる体制)

- ・ 土砂災害発生の危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等の必要地域に避難勧告
- ・ 災害対策本部設置
- ・ メッシュ情報を参照し、必要地域に避難指示

- ・ 特別警報の住民への周知
- ・ メッシュ情報を参照し、避難指示等の対象範囲を再度確認

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認



- Point**
備えは大丈夫？
- ・ 土砂災害警戒区域等の危険な箇所を把握
 - ・ 避難場所や避難ルートを確認

最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を

- ・ 発表中の注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、土砂災害警戒区域等にお住まいで避難行動に支援を必要とする方は、早めの避難



土砂災害警戒区域等にお住まいの方は地元市町村からの避難情報に留意するとともに「土砂災害警戒判定メッシュ情報」を確認し、速やかに避難



- ・ 大雨警報や土砂災害警戒情報の基準に到達したメッシュでは、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所に避難
- ・ 台風の接近で暴風警報又は暴風特別警報が発表された場合、暴風で屋外を移動できなくなる前に早めの避難
- ・ 避難しようとしたときに大雨や暴風で屋外に出ると生命に危険が及ぶ場合は、2階以上の、崖や沢からなるべく離れた部屋で待避

すでに重大な災害が発生している可能性あり！
直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を



- ・ これまでに経験したことのないような大雨となり、重大な危険が差し迫った異常事態

Point
土砂災害警戒区域等
にお住まいの方は
早めの行動を！



台風統計

台風は平均して1年間に25回起きる

2015年までの台風の発生数 ([csvファイル](#))

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2015	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27
2014	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23
2013	1	1				4	3	6	7	7	2		31
2012			1		1	4	4	5	3	5	1	1	25
2011					2	3	4	3	7	1		1	21

学んだこと

自然災害に対し、
備えたり自分の住んでいる町の避難対策を知ること
とは大事